

カビ(真菌)の正体を知りつくし、
増えつづける感染症にそなえる、座右の一冊！

住まいとカビと病原性

—カビはどの程度危険か—



宮治 誠 千葉大学名誉教授 共著
西村和子 千葉大学名誉教授

水虫、カンジダ、日和見感染症だけではない！
カビ(=真菌)がもたらす病気を見続け、
原因菌を追究・研究すること30年以上、
日本の医真菌学会をリードしてきた

2人の巨頭が繰り出す

住環境を汚染するカビの

もっとも詳しい解説書。

身近に生きている主な環境真菌120種余りの
生態・性状・病原性、

危険度・病原度などを詳述。

さらに、
コクシジオイデス症、ヒストプラズマ症など、
今後、危惧される

輸入感染症とその原因菌を紹介。

人体の各臓器から分離された菌の一覧表付き。

《目次より》

- I. カビとはいったい何なのだ！
- II. カビはどんな環境を好むのか
- III. 環境菌の病原度 — 微生物の危険度分類表はそのまま「環境菌の病原度」に適用できるか —
 1. 危険度分類
 2. 環境真菌の「病原度」
- IV. おもな環境真菌
- V. 新興真菌と新興真菌症
 1. 日本における新興真菌症の原因菌
 2. 特に注意すべき新興・再興真菌
- VI. カビによる病気が増えている
 1. 日和見真菌感染
 2. カンジダ症

3. アスペルギルス症
 4. クリプトコックス症
 5. 接合菌症(ムーコル症)
 6. 黒色真菌症(クロモミコーシス)
 7. スポロトリコーシス
 8. 水虫はなぜ治りにくいのか
 9. 輸入真菌症
 10. 眼科領域における真菌症
 11. 耳鼻科領域における真菌症
 12. カビとアレルギー — アレルゲンとなるカビ —
- VII. 寄生形態 — 病原真菌の二形性 —
1. 腐生形態と寄生形態が異なる菌群
 2. 腐生形態と寄生形態がともに菌糸形を示す菌群

VIII. 遺伝子解析と交配試験による種の同定法

1. 遺伝子解析による同定法
2. 担子菌の交配試験

IX. カビ毒 — マイコトキシン —

B5 並製・カバー装、総 208 頁
本体価格 7,800 円+税
[ISBN978-4-89694-935-3]

八坂書房

〒101-0064
東京都千代田区猿樂町 1-4-11
Tel.03-3293-7975 Fax.03-3293-7977
URL: <http://www.yasakashobo.co.jp>
e-mail: info@yasakashobo.co.jp

『住まいとカビと病原性』組見本

IV. おもな環境真菌
フィアライド phialide はフラスコ形、複列で頂叢の上半分を被う。分生子 conidium は球形で 1 細胞性、壁は粗ざら、3 ~ 3.5 μm である。
緑色の分生子頭は短い円柱で、閉子嚢殻 cleistothecium が豊富に形成される。
【病原性】 外耳道真菌症の原因菌である。
【危険度】 日本医真菌学会の「危険度分類表」では class 1、環境菌でのランクは「病原度 1」

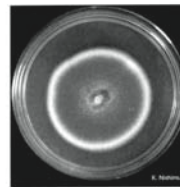


写真 IV-6-1 アスペルギルス・ニ
ドゥランツ Aspergillus nidulans の分
生孢子。25 $\times$ 、9日間培養

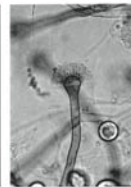


写真 IV-6-2 アスペルギルス・ニ
ドゥランツ Aspergillus nidulans の閉子嚢殻
スコボア。緑：分生子、黄
色：分生子柄

写真 IV-6-3 アスペ
ルギウス・ニドゥランツ Asper
gillus nidulans の閉子嚢殻
スコボア。緑：分生子、黄
色：分生子柄

菌の集落と胞子生産を
カラーで収録。
菌種見分けの決め手となる

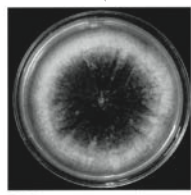


写真 IV-7-1 アスペルギルス・フ
ミガツ Aspergillus fumigatus
の集落。25 $\times$ 、25 $\times$ 、9日間培養

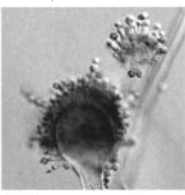


写真 IV-7-2 アスペルギルス・フ
ミガツ Aspergillus fumigatus
の分生子。ラクトフェール、 $\times 400$

v. ボロ型分生子 poroconidium
分生子柄 conidiophore あるいは分生子形成細胞の壁に小孔が生じ、その孔から出芽的に生じる分生子で、着色した多細胞性のものが多く見られます (例：ウロクラジウム Ulocladium、アルテルナリア Alternaria) (写真 1-4)。

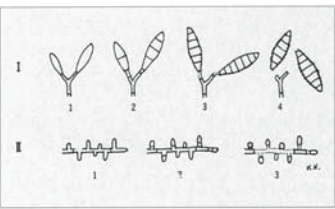


写真 1-4 ウロク
ラム Ulocladium の分
生子。分生子柄の長
さは 2 μm 程度

菌種ごとに
危険度、
病原度を
明記

豊富な図解と写真で
カビの性質、増え方
をわかりやすく解説

vi. アレウリオ型分生子 aleurioconidium
分生子は菌糸の先端あるいは側枝が球形、円筒形に膨大し、細胞壁も厚く
なります (図 1-13)。分生子を保持している菌糸とのあいだにくびれがなく
(解離細胞)、分生子は離断されます (例：白癬菌、ヒストプラズマ Histoplasma など)。



vii. 分節型分生子 arthroconidium
菌糸に多数の隔壁が生じ、この隔壁のところでも分離し個々の細胞になります (図 1-14) (例：白癬菌、
ゲオトリウム Geotrichum、コクシジオイデス・イミタリス Coccidioides immitis など)。

viii. 鎖状分生子 chainyospore
菌糸に多数の隔壁が生じ、この隔壁のところでも分離し個々の細胞になります (図 1-14) (例：白癬菌、
ゲオトリウム Geotrichum、コクシジオイデス・イミタリス Coccidioides immitis など)。

病気と菌のつながりがわかる！

スボロトリコーシス
スボロトリコーシスは千葉県に多い皮膚疾患です。スボロトリコーシスはトゲや皮膚の軽い傷口から
スボロトリコーシス菌 Sporothrix schenckii というカビが侵入して起こります。通常病原菌は
皮膚、皮下組織およびリンパ節に局限され、結節性および潰瘍性病変が形成されます。病変は一見おど
ろしいのですが、痛みはありません。以前この病気はあまり知られていなかったため、よく皮膚
結核、あるいは皮膚癌と間違われました (写真 VI-15)。



症例写真を
豊富に収録。
ひと目で
インプット

患者発生と気候との関係
千葉県はこの病気の発生が多いのですが、県内でも地域によってその分布に差がみられます。かつて
私の研究室に所属していた岩津郡希津町が作製した地図によると患者の発生は八千代市から習志野市に
いたる台地、成田市および八街市市場市周辺、成田市および東金市周辺、あるいは利根川沿いから茨城県
電ヶ崎市周辺に患者の発生が多いのです。一方千葉県でも南部の地域、つまり房総半島先端へいくに従
い患者の発症は少なくなっていることがわかります。
このような患者の発生分布と気候との間には密接な関係があります。患者の多くは秋から春先にかけて

120

〈書店名〉